

補助事業番号 28-70
補助事業名 平成28年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業
補助事業者名 静岡県

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

静岡県における中小企業の技術水準の向上に資するため、県内公設工業試験研究所に装置を設置し、設備の拡充を図る。

(2) 実施内容

①音響透過損失・残響室法吸音率測定システム及び②熱分析装置を導入する。

これらの装置を用いて技術的な指導力の強化を図り、県内の中小企業の技術力向上、新たな事業展開に対する支援を行う。

2 予想される事業実施効果

①音響透過損失・残響室法吸音率測定システムは、今後、更なる高度化、軽量化が求められる自動車の内装材料の開発、評価にあたり、既存の残響室と無響室（平成4年度導入）では対応できなかったISO等の工業規格に準拠した性能を有している。

②熱分析装置は、従来から行っていた材料の耐熱性・耐寒性の評価や、プラスチック成形品の不良原因の解析等に加え、次世代の自動車関連部材としての応用が期待されている炭素繊維強化熱可塑性樹脂複合材料（CFRTP）の繊維含有率の評価等、更新により利用できる分野が拡大した。

両機種とも、成長が見込まれる次世代自動車関連分野で使用される部材の評価に適応し、企業からの照会も多く寄せられるなど、今後の利用拡大が見込まれる。

3 本事業により導入した設備

① 音響透過損失・残響室法吸音率測定システム

(https://www.iri.pref.shizuoka.jp/setsubi/s_h28_1.html)

設置場所：【静岡県工業技術研究所】

本システムは、材料の遮音性能と吸音性能を測定する設備である。無響室と残響室の間に試験体を設置することで音響透過損失を、残響室の床に試験体を設置することで残響室法吸音率の測定が可能である。

自動車メーカーから要求された音響性能を満たす自動車内装材料の開発などに有効である。

② 熱分析装置

(https://www.iri.pref.shizuoka.jp/setsubi/s_h28_2.html)

設置場所：【静岡県工業技術研究所】

本機器は、試料（プラスチック、ゴム、金属等）の温度を一定のプログラムで変化させながら、その変化（発熱・吸熱量、重量、変形）を測定することにより、特性を評価する装置である。

主に、ゴム製品（タイヤ、ホース、パッキン、防振材等）の耐熱性・耐寒性の評価や、プラスチック成形品の不良原因の解析、炭素材料・無機材料の焼結条件の検討、金属部材料や、表面処理の耐熱性評価に用いられる。



①音響透過損失・残響室法吸音率測定システム

②熱分析装置

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 静岡県工業技術研究所

(シズオカケンコウギョウギジュツケンキュウジョ)

住所： 〒421-1298

静岡市葵区牧ヶ谷2078番地

代表者： 所長 北川 剛弘 (キタガワ タカヒロ)

担当部署： 企画調整部 (キカクチョウセイブ)

担当者名： 上席研究員 矢嶋 雅 (ヤジマ マサシ)

電話番号： 054-278-3028

F A X : 054-278-3066

E-mail : shizuoka@iri.pref.shizuoka.jp

URL : <http://www.iri.pref.shizuoka.jp>